

豊郷町隣保館だより

2025年12月12日発行(11月12月合併号) 豊郷町隣保館 No.260



「ちょうちんばいばい」の物語を熱心に読みとってくれました♡

崇徳の保子先生にも会えたね!

豊郷小学校3年生が三ツ池のお旅所から野神公園、人と光のモニュメントへ! 大きな太鼓も叩いてみました!

豊郷小学校3年生のみなさんが、『総合的な学習の時間』として三ツ池のお旅所から野神公園、そして「人と光のモニュメント」を訪れてくれました。

『総合的な学習の時間』には、『地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題についての学習活動などを行うこと』が組入れられています。

私たちの暮らす豊郷町は小さなまちですが、数多くの歴史的価値のある場所や、誇りうる人たちの息づかいが感じられる、まち全体が歴史と文化にあふれた心とむ豊かな郷です。多くの歴史的財産があることで、「豊郷町には、昔から自慢できるものがたくさんあって、そのすべてに多くの人たちの頑張りがあったから今ここにみんながいるんだよ。」そんな想いを伝えるための学習活動はとても大切だと思います。

そして、そこには差別の現実に向き合い、人としての尊厳を大切にしながらつながり合い、反差別の道のりを歩んできた多くの人たちの存在があったということも伝える意義があるのではと感じています。

なぜ、水平社宣言の「人の世に熱あれ・人間に光あれ」の文言をモチーフにした石碑があるのか、「ちょうちんばいばい」の昔話を通して子どもたちに何を伝えたいのか、また、大きな太鼓を地域の誇りとして祭事を大切に執り行っていることなど、それらの意味合いを子どもたちに伝える『人権の学び』は、とても重要になると思っています。子どもたちの関係性が今以上に豊かに育まれていくために、隣保館の役割のひとつとして、これからも伝えていきたいと感じています。